

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	空間トランスクリプトーム解析を用いた Dupuytren 拘縮の病態研究		
1. 研究の目的と方法	本研究の目的は、デュピュイトラン拘縮で指が曲がる根本的な原因を解明し、新しい治療法や予防法の開発につなげることです。手術の際に切除された手の組織を用いて、病気に関連する細胞の配置や、硬い線維（コラーゲン）の構造がどのように変化しているかを最新の技術（空間トランスクリプトーム解析）で詳しく調べます。本研究による患者様への新たな負担はありません。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	Dupuytren 拘縮ならびに手根管症候群の患者さんで、2020年1月1日～2024年12月31日の間に附属病院にて手術を受けた18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	手術の時に切除した組織	
	(2) 試料の取得の方法	手術の時に切除し、病理組織学的診断を行った組織の一部を別途いただきます。	
	(3) 情報の種類	罹病期間、性別、年齢、既往歴、血液検査結果、病理組織学的診断、罹患指、各関節可動域	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 整形外科学講座
		氏名	湯川充人
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>試料・情報の利用開始予定日：2026年5月頃～</p> <p>この研究で収集・取得された試料・情報は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用のIDや番号をつけてから、岩井化学に以下の方法で送られ、詳しく解析されます。</p> <p>提供方法：追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座</p> <p>研究責任者：助教 湯川 充人（ゆかわ みつひと）</p> <p>窓口担当者：助教 湯川 充人（ゆかわ みつひと）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 3441）</p> <p>対応時間：平日 09：00 ～ 16：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。